【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2000-57576(P2000-57576A)
【公開日】平成12年2月25日(2000.2.25)
【出願番号】特願平11-223895
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　7/0045　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　7/0045　Ｚ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３１１

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月26日(2006.7.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】レーザドライバ（36）と、
レーザドライバに結合されたレーザ（26）を含み、出力がリードバック信号（RBK）を提供する光ピックアップユニットと、
書込み動作において書込みクロック（WC）をレーザドライバに供給する書込みクロックジェネレータ（40）と、
リードバック信号から第１と第２の信号を導入し、第１の信号が、レーザの変調によって生成される第１のリードバック信号成分を表し、第２の信号が、レーザビームの外部変調によって生成される第２のリードバック信号成分を表す第１の手段（44、46、50、52）と、
第１の信号と第２の信号の位相差によって書込みクロックの位相を調整する第２の手段（48）と、
を含む装置（20）。
【請求項２】読取り動作モードにおいてレーザを変調するための変調信号（RF）を生成するRFジェネレータ（38）をさらに含み、書込みクロックジェネレータが、変調信号から書込みクロックを導出し、書込みクロックの位相が、変調信号の位相を調整することにより調整される、請求項１に記載の装置。
【請求項３】第１の手段が、
読取り動作モードにおいてレーザの変調によって生成されたリードバック信号成分からクロックを再生し、出力が第１の信号を提供する第１の検出回路（46）と、
以前に書き込まれたデータによるレーザの変調によって生成されたリードバック信号成分からクロックを再生し、出力が第２の信号を提供する第２の検出回路（50）と、
を含む、請求項１に記載の装置。
【請求項４】第１の手段が、
読取り動作モードにおいてレーザの変調によって生成されたリードバック信号成分からクロックを0再生し、出力が第１の信号を提供する第１の検出回路（46）と、
高周波ウォッブルによってレーザの変調によって生成されたリードバック信号成分からクロックを再生し、出力が第２の信号を提供する第２の検出回路（44）と、
を含む、請求項１に記載の装置。

【請求項５】第１の手段が、
書込み動作モードにおいてレーザの変調によって生成されたリードバック信号成分からクロックを再生し、出力が第１の信号を提供する第１の検出回路（52）と、
高周波ウォッブルによるレーザの変調によって生成されたリードバック信号成分からクロックを再生し、出力が第２の信号を提供する第２の検出回路（44）と、
を含む、請求項１に記載の装置。
【請求項６】基準マークを有するレーザ変調信号を生成する手段（38）をさらに含み、第１の信号が、レーザ変調信号の基準マークに対応する基準マークを有し、第２の手段が、さらに、第１の信号の基準マークの位置が第２の信号のエッジと合うまで書込みクロックを調整する、請求項１に記載の装置。